

令和7年度 1 学期 始業式 式辞

2・3年生の 初めまして。この4月から校長として着任した平岡 香子です。

皆さんにお会いできるのをとっても楽しみにしていました。このように伝統ある高校の校長を務めることができるのは本当に光栄です。どうぞよろしくお願いします。

さて、2年生の皆さん、2年生の過ごし方でほぼ進路の方向づけが決まってきます。大変重要な一年になります。部活動でも中心的な活躍が期待されて、忙しい一年になると思いますが学習に、部活動に、全力で挑戦して下さい。

3年生の皆さんは最上級生として、四條畷高校をリードすることになります、よろしくお願いします。また皆さんは進路決定の時期を迎えます。一生懸命努力したその経験は将来、必ず役立ちます。がんばってください。

2年生3年生の皆さんとともに心がけてほしいことは、目標を定めるときに

「安易にリミッターや限界を作らない」ということです。

「自分の力は、これくらい」、「これは自分には、向いていない」などと、簡単にあきらめないでほしいのです。

また、これまでの慣習や常識や前例といった「限界やリミット」「既成概念」にとらわれないでください。「いままで誰もしたことがないから」「普通はこんな判断をするものだ」など、自分の可能性を狭めないでください。なぜなら、人は「可能だ」「できる」と思ったこと以上のことは、実現できないからです。自分の力を信じて、目標を定めてほしいと思います。

「あれかこれか」ではなく「あれもこれも」と欲張って、勉強や部活動、学校行事などなどにも全力で取り組んで、リミッターを作ることなく、自己の可能性を大きく広げていってほしいと願っています。

そして、今は多くの人が「よし今年度は頑張ろう」と思ったはずです。

どうかその気持ちを忘れることなく「初志貫徹」させてください。

でも、頑張っている、うまくいかないこともあるし、しんどくなってしまうこともあると思います。最後にそんな時に効果のある「幸せのルーティン」についてお話します。

ルーティンは、決められた動作を繰り返すことを意味する言葉で、毎日決まったことをするという場合と何か特別なことがあるときに決まってする場合とに分かれます。「幸せのルーティン」は幸せになりたいときに決まってするものです。

しんどい時などに、「これをすれば幸せになれる」という方法を決めておくのです。たとえば、何か特別な美味しいスイーツを食べるとか、好きなアーティストの元気になる曲を聴くとか、ペットを飼っている人はその子を抱きしめるとか、ペットのいない人もぬいぐるみをモフモフして幸せになるとか、自分で「幸せのルーティン」を決めておくのです。

ええ、その程度のこと、と思ったかもしれませんが、以外と効果があるものです。

どうか、つらい時は一人で無理するのではなく、周りの人にも協力してもらって、一緒に乗り越えて行きましょう

この一年が、皆さん一人ひとりにとって素晴らしい一年となるように、そして皆さんと先生が力を合わせて、一層素晴らしい四條畷になることを願って、始業式の言葉とします。